

3.4～3.6GHz帯の干渉調査の進捗状況

平成25年2月28日

イー・アクセス(株)、(株)NTTドコモ、KDDI(株)、ソフトバンクモバイル(株)、UQコミュニケーションズ(株)

下線部は前回作業班資料との差分

#	検討対象業務	携帯側担当	既存側担当	進捗状況	会合経緯
①	第4世代移動通信システム (IMT-Advanced)	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、 UQ	—	● 干渉検討のシステムパラメータについて確認 ● 今後の干渉検討は、基本的に ✓ FDD/TDD場合分けせず、上り／下り両方の検討で代替 ✓ 検討システムは、LTE-Advancedに包含する で進める ● 携帯同士の干渉検討について、机上検討、フィルタ、アンプの試作による評価を実施、引き続き検討中	● H24年7月末よりメール議論開始 ● H24年8月～10月：検討手法、パラメータの議論 (8.29携帯AH、9.5全体AH、10.1携帯AH、10.12全体AH) ● H24年11月～：机上検討結果について議論中 (11.27関係者打合せ、12.07全体AH、12.12携帯AH、1.18関係者打合せ&携帯AH、1.23全体AH、<u>2.25関係者打合せ</u>)
②	放送監視制御 (Sバンド)	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、 UQ	NHK、テレ朝、 TFM、TBS	● 干渉検討を進めるため、放送システムのシステムパラメータや検討手法を精査 ● 干渉検討のシステムパラメータについて確認 ● 今後の干渉検討は、基本的に ✓ 1対1の検討を基本とする(陸上移動局、陸上移動中継局、小電力レピータについては、1対1の検討では共用の判断ができない場合は、確率的調査も実施) ✓ 同一、隣接チャネル干渉検討を実施 で進めることで意識あわせ ● 1対1の机上検討、<u>実機による音声評価</u>を実施、引き続き検討中	● H24年7月：放送事業者プレゼンについて議論 ● H24年8月：放送側干渉調査について議論 ● H24年9月～10月：検討手法、パラメータの議論(9.5全体AH、10.12全体AH) ● H24年11月～：1対1の場合の机上検討結果議論中 (11.27関係者打合せ、12.07全体AH、1.18関係者打合せ、1.23全体AH、<u>2.14音声評価試験</u>、<u>2.25関係者打合せ</u>)
③	3.4GHz帯音声FPU	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、UQ	NHK、TFM、 TBS	● 同上	● 同上
④	3.4GHz帯音声 STL/TTL/TSL	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、UQ	NHK、TFM、 TBS	● 同上	● 同上
⑤	衛星ダウンリンク (Cバンド)	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、 UQ	スカパーJSAT、 KDDI、ドコモ、 NTT	● 干渉検討を進めるため、衛星システムのシステムパラメータや検討手法を精査 ● 干渉検討のシステムパラメータについて確認 ● 今後の干渉検討は、基本的に ✓ 1対1の検討を基本とする(陸上移動局、陸上移動中継局、小電力レピータについては、1対1の検討では共用の判断ができない場合は、確率的調査も実施) ✓ 衛星地球局を同一場所で集約、典型的な衛星地球局を設定するなど、効率的な検討を進められるよう工夫する ✓ 同一、隣接チャネル干渉検討を実施 ✓ 複数携帯無線局からの干渉、受信フロントエンド飽和、伝搬モデルの影響について検討する ● 1対1、<u>複数基地局から衛星地球局への影響、通常基地局／小セル局からの影響、短時間／長時間干渉の影響</u>などの机上検討を実施、引き続き検討中	● H24年6月：関係者会合にて、衛星側パラメータについてメールベースで収集することで合意 ● H24年9月～10月：検討手法、パラメータの議論(9.5全体AH、10.12全体AH) ● H24年11月～：1対1の場合の机上検討結果議論中 (11.27関係者打合せ、12.07全体AH、1.18関係者打合せ、1.23全体AH、<u>2.25関係者打合せ</u>)
⑥	移動衛星フィードバックのダウンリンク (Cバンド)	EA、ドコモ、 KDDI、SBM、UQ	スカパーJSAT、 KDDI、ドコモ、 NTT	● 同上	● 同上